

交通安全かわら版

令和3年10月
茨城県警察本部交通総務課
No. 47

～令和3年9月末の交通死亡事故～

9月末の死者数56人(高齢者が約6割)

1 全国との比較

★ 交通事故死者上位都道府県

| 順位 | 都道府県 | 死者数 | 前年比 |
|----|------|-----|-----|
| 1 | 大阪 | 102 | +16 |
| 2 | 神奈川 | 97 | -6 |
| 3 | 東京 | 91 | -7 |
| 4 | 埼玉 | 84 | +4 |
| 5 | 千葉 | 83 | -9 |
| 5 | 北海道 | 83 | -21 |
| 7 | 兵庫 | 77 | +10 |
| 8 | 福岡 | 76 | +12 |
| 8 | 愛知 | 76 | -38 |
| 11 | 茨城 | 56 | +2 |

★ 人口10万人当たり

| 順位 | 都道府県 | 死者数 |
|------|------|------|
| 1 | 徳島 | 3.46 |
| 2 | 高知 | 3.18 |
| 18 | 茨城 | 1.96 |
| 全国平均 | | 1.45 |

※人口
R2/7/1 現在

★ 自動車1万台当たり

| 順位 | 都道府県 | 死者数 |
|------|------|------|
| 1 | 徳島 | 0.40 |
| 2 | 高知 | 0.39 |
| 29 | 茨城 | 0.21 |
| 全国平均 | | 0.22 |

※自動車台数
R2/12/31 現在

※ 全国の死者数 1,829人 対前年比 -159人(-8.0%)

2 県内の交通死亡事故の主な特徴【発生件数 55件、死者数 56人】

| | |
|--------|--|
| 市町村 | 古河市が6人で最多、次いで神栖市が5人 |
| 地域 | 県南が19人で最多、次いで県西が13人、県北、鹿行、県央が各8人 |
| 原因 | 脇見漫然が13件で最多、次いで運転操作不適が8件 |
| 飲酒運転 | 発生件数6件(前年比+6件)、死者数6人(前年比+6人) |
| 事故類型 | 人対車両が24人で最多、次いで車両相互が19人、車両単独が13人 小類型では、人対車両-横断中が12人で最多 |
| 昼夜時間帯 | 昼間(33人 前年比+8人 構成率58.9%)、夜間(23人 前年比-6人 構成率41.1%) |
| 死者年齢層 | 高齢者33人(構成率58.9%) ※「高齢者」は65歳以上 80歳以上23人(構成率41.1%)、70歳代が10人(構成率17.9%) |
| シートベルト | 四輪車乗車中の死者22人中、11人がシートベルト非着用 |
| その他 | 9月中の死亡事故(7件 死者7人)の特徴 ・飲酒運転による死亡事故が2件 ・青少年が死亡した事故が2件 |

更に詳細な内容を知りたい方は、県警ホームページまで



飲酒運転はしない!させない!

- 飲酒運転は死亡事故に直結する**悪質・重大な犯罪行為**です。
- 飲酒運転をすると、**重い罰則**(懲役又は罰金)と**行政処分**(免許取消等)を受けることになる他、勤務先の解雇、生活破綻、家庭崩壊等の**様々な代償**を支払うこととなります。
- 飲酒運転者だけでなく、「**飲酒している者へ車を提供した者**」、「**車を運転する者へ酒類を提供した者**」、「**飲酒運転の車に同乗した者**」についても処罰の対象となります。



交通安全かわら版

令和3年10月
茨城県警察本部交通総務課

No. 48

ライト切り替えによる交通事故防止（令和3年9月末）

① ライトは早めに点灯しましょう！

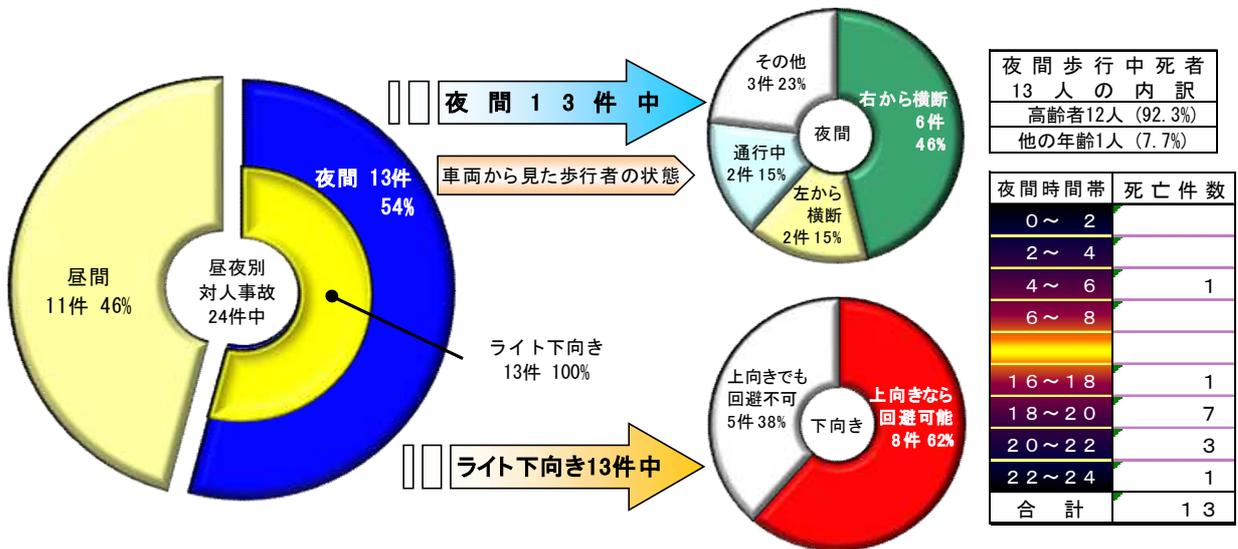


10月中のライト点灯目安時間は？

16時30分

② 上向きライトを利用しましょう！

夜間、四輪車が歩行者をはねる交通死亡事故(令和3年9月末・13件13人)



運転者はこまめなライトの上下切り替えを！

※対向車等がいるときは、下向きに切り替えましょう。



時速60kmで走行した場合の停止距離は約40m(※)で、歩行者がライトに照らされてからでは、事故回避が困難となります。

※警察庁資料より

歩行者・自転車利用者は反射材の着用を！

反射材なし

反射材あり

